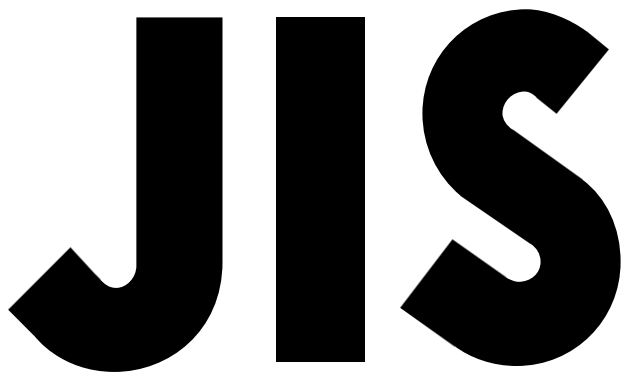




プラスチックー像鮮明度の求め方

JIS K 7374 : 2024

(ISO 17221 : 2014)

(JPIF/JSA)

令和 6 年 2 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	松 橋 隆 治	東京大学
(委員)	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	江 坂 行 弘	一般社団法人日本自動車工業会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	倉 片 憲 治	早稲田大学
	越 川 哲 哉	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	是 永 敦	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	清 水 孝太郎	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	清 家 剛	東京大学
	高 辻 利 之	株式会社 AIST Solutions
	田 淵 一 浩	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	千 葉 光 一	関西学院大学
	中 川 梓	一般財団法人日本規格協会
	久 田 真	東北大学
	廣 瀬 道 雄	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	細 谷 恵	主婦連合会
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	神戸大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
	山 田 陽 滋	豊田工業高等専門学校

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 19.11.20 改正：令和 6.2.20

官 報 掲 載 日：令和 6.2.20

原 案 作 成 者：日本プラスチック工業連盟

(〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-5-2 アロマビル TEL 03-6661-6811)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 原理	2
5 装置	2
5.1 光源及び分光応答度	2
5.2 光源スリット	2
5.3 光学くし	2
5.4 光学幾何条件	3
5.5 黒色標準ガラス	3
5.6 構造	4
6 試験片	5
7 測定	5
7.1 ゼロ点合わせ	5
7.2 感度合わせ	5
7.3 方向性のある試験片	5
8 計算	5
9 試験報告	6
附属書 A (参考) 像鮮明度測定例	7
附属書 B (参考) 精度	10
解 説	12

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本プラスチック工業連盟（JPIF）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS K 7374:2007** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

プラスチック—像鮮明度の求め方

Plastics—Determination of image clarity

序文

この規格は、2014 年に第 1 版として発行された **ISO 17221** を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本産業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある参考事項は、対応国際規格にはない事項である。

1 適用範囲

この規格は、試験片表面からの反射測定又は試験片の透過測定による、計器を用いたプラスチックの像鮮明度の求め方について規定する。この試験方法は、平面にだけ適用される。

注記 1 同じ材質でも、試験片の作製方法によって、像鮮明度は異なる場合がある。

注記 2 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 17221:2014, Plastics — Determination of image clarity (degree of sharpness of reflected or transmitted image) (IDT)

なお、対応の程度を表す記号“IDT”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“一致している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS K 6900 プラスチック—用語

注記 対応国際規格における引用規格：**ISO 472**, Plastics—Vocabulary

JIS Z 8741 鏡面光沢度—測定方法

注記 対応国際規格における引用規格：**ISO 2813**, Paints and varnishes—Determination of specular gloss of non-metallic paint films at 20 degrees, 60 degrees and 85 degrees

JIS Z 8781-1 測色—第 1 部：CIE 測色標準観測者の等色関数

注記 対応国際規格における引用規格：**ISO 11664-1**, Colorimetry—Part 1: CIE standard colorimetric observers

JIS Z 8781-2 測色—第 2 部：CIE 測色用標準イルミナント

注記 対応国際規格における引用規格：**ISO 11664-2**, Colorimetry—Part 2: CIE standard illuminants